

No. 192
2019. 5

ねば

広報

私たちの村

人口と世帯 令和元年5月7日現在

総人口	907人
男	441人
女	466人
世帯数	415世帯

村の木 す ぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村2131-1
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



5月7日に、大久保憲一村長が
3期目初登庁しました。

5月号の主な内容

村長就任あいさつ 2ページ
議員あいさつ 3～6ページ
臨時議会 他 7ページ
根羽村福祉医療費給付事業について ... 8ページ
長野県ヘルプマークについて 他 9ページ
トライアルハウス完成 他 10ページ
小中保入学式 他 11ページ
植樹祭 他 12ページ

村長就任あいさつ

根羽村長 大久保 憲一



境の充実、健康づくりや福祉サービスの充実、森林の活用や森林認証の取得、村の防災の拠点である役場庁舎の移転改築等に積極的に取り組んでまいりました。

この度の根羽村長選挙に立候補させて頂き、村民の皆さんからのご支持を頂き、3期目の村政を担わせて頂くこととなりました。改めてその職責の重大さを感じるとともに、身を引き締めて新たな村づくりに向けて、村民の皆さんと一緒に進んでまいりたいと思います。

さて、2期8年間村民の皆さんはじめ、多くの関係者の皆さんのご支援と協力によって、これまで村づくりを進めてくることができました。本当にありがとうございます。この8年間、村民の皆さんが安全で安心して住み続けられるために、高齢者福祉施設の整備や、子育て支援・教育環

境の充実、健康づくりや福祉サービスの充実、森林の活用や森林認証の取得、村の防災の拠点である役場庁舎の移転改築等に積極的に取り組んでまいりました。

さて、現在村を取り巻く様々な環境や社会情勢は、日々大きく変化しており、特に少子高齢化による地域づくりへの影響は大きなものがあります。こうした中で、地域に人が住み続けられることが、地域が存続するための基礎となります。この2期8年間、村民の皆さんと一緒に様々な取り組みを進めてまいりましたが、地域づくりは次の新たな課題に向かって、常に前向きに進んで行かなければならないと考えています。3期目の村づくりは、村民の皆さんと一緒に考えて考え、「誇り」と「自信」を持って、健康で生き活きと暮らせる村づくりを目標に、村内での「雇用の循環」、「経済の循環」、「サー

ビスの循環」の3つの循環と、都市部との連携による村づくりを着実に進めてまいりたいと考えています。まず、「雇用の循環」では、森林資源を積極的に活用したトータル林業のさらなる推進、村内にある様々な資源に付加価値を付けた利活用、村内企業への就労支援の充実、特に赤坂地区に整備した移住定住に向けたトライアルハウスを活用した村内での就業体験者の受け入れや、新たな産業の創出にもつなげていきたいと考えています。また、山地酪農やトマト、イチゴ栽培などの新規就農者等への支援の充実、農業や林業体験等に併せ村内で宿泊をしてもらう農泊事業の推進等によって、新たな働き方の創出や、働く場所の確保にもつなげて行きたいと考えています。次に「経済の循環」ですが、できるだけ村内でお金が循環することが重要であります。商工会で実施してい

ますプレミアム付商品券の拡充や、外貨を稼ぐための農泊事業の推進や、村内の観光スポットを結び付け、できるだけ長い時間村内に滞留してもらえらる取り組みなどをしっかりと進めて行きたいと考えています。また、村内の情報をしっかりと都市部に発信し、根羽村で体験してみたい、何かに挑戦してみたいと思う人達に、村に積極的に関わってもらう「関係人口の構築」にも積極的に取り組んでまいりたいと考えています。また、現在未利用の森林資源をバイオマスエネルギーとして活用する取り組みもしっかりと進めて行きたいと考えています。次に「サービスの循環」では、少子化の時代の中で次世代を担う子供達に、より良い教育環境の整備を進めることが喫緊の課題であり、来年度からの義務教育学校開校に向けての準備を、皆さんとしっかりと検討し協議をして進めてまいりたいと考えています。また、村民の皆さんが健康で、明るく元気に、そして楽しく生きる為の医療体制の充実や検診体制の充実、生きがい対策の充実、介護・福祉事業の充実、村内の移動手段の確保についても、それぞれ充実を

図ってまいります。また、村内では高速通信網が未整備となつていますが、国や関係機関と連携し整備に向けた取り組みも積極的に進めて行きたいと考えています。また、全国各地で多発する自然災害に対応するため、いざという時のための安全な避難方法や、お互いに助け合う自助・共助の取り組みの推進に併せ、ハード施設の整備も併せて進め、災害に強い村づくりを目指してまいります。

8年後の2027年には、リニア中央新幹線が開通し、三遠南信自動車道も整備が進み、私たちの地域を取り巻く環境は大きく変化して行きます。こうした新たな時代に向けて、村民の皆さんと一緒に考えて考え、「誇り」と「自信」を持って、健康で生き活きと暮らせる村づくりを目標に、村民の皆さんが根羽村に住んで良かった、そしてこれからも根羽村に住み続けたいと思える村となるよう、村民の皆さん、議会議員の皆さんはじめ、関係する多くの皆さんと一緒に村づくりを進めてまいりたいと思いますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

議

員

紹

介

西尾竹司



この度の地方統一選挙の時には、皆様には大変、お世話になりました。

まだ議員経験も浅く、又、浅学非才では有りますが、少しでも根羽村の為に尽くして行きたいと思っておりますのでこれからも宜しくお願い申し上げます。

1、経済の活性化と観光力向上
根羽村は国道、県道が縦横に整備されており名古屋、浜松市、恵那市、飯田市から60分から120分圏内にある。しかしながら近年観光客の減少により観光拠点であるネパールランドをはじめ各商店も収益の減少は避けられない状況にあると思われる。これらを解

消するにあたり、観光客の短期滞在をはじめ、特産品の生産、販売が必要と思う。短期滞在については根羽村で宿泊したいが宿泊する場所が少ないことからグリーンハウス森沢をもっと宣伝していくとともに、夏は自然豊かな茶臼山キャンプ場にオートキャンプ場の整備をしてはと考えている。特産品の生産、販売については若手農業者によるイチゴ、トマトの生産をしつかり応援していく、新たな村の特産物とすることで観光客を増やしていきたい。また観光客には根羽村の商店で商品を購入するとポイントをつけ、そのポイントによって様々な施設の利用、商品の交換ができる根羽村ポイント制度を導入し再度根羽村に訪れてもらうとともに外貨獲得を目指すことを検討して経済の活性化、観光地向上を図りたい。

2、空き家対策と移住定住
根羽村では少しずつ空き家が増えている。この空き家をそのままにして行くより自然な場所で住みたいと考えてい

る人たちに情報提供や購入の斡旋を積極的に図るべきと考える。また村では少子化が深刻化している中、安城市からの留学も実施しているが小中学校の児童生徒は年々減少傾向にあると思われる。この空き家対策については若い世代と限定して取り組み、少子化対策の一環に繋がればと思う。また空き家の改修費用も必要と思うので上限を設けて補助金を支給するとともに固定資産税も数年間免除をして負担軽減を図ってはと考える。また根羽村の子育て支援策は全国でも上位にあると思われる。この支援策をもっと宣伝して移住定住を図っていければと思っている。

3、村の魅力
根羽川では4月から9月までアマゴ・鮎釣りが盛んである。釣り人口は年々微増であるが訪れる釣り人からは根羽川はよいところだ、鮎は近隣の市町村よりも味が良い等といつも嬉しい言葉をいただいている。また猟友会では県・村の支援により鹿・イノシシのジビエの販売促進を図ることができ、消費者も年々増加傾向にある。この鮎、ジビエをはじめ根羽村の旬の野菜等をもっと多くの人たちに知っ

坂巻秀高



てもらうために村のホームページやチラシ等を配布して根羽村の魅力を発信するとともに春夏秋冬を感じられる旬の料理が提供、販売できる施設の整備が必要と思う。あらゆる団体、商工会に協力を得ながら検討し、魅力あふれる根羽村にしていきたい。

この度根羽村議会議員一般選挙に当選をさせて頂きました。横畑の坂巻秀高です。仕事は隣の旧稲武町の建設会社（稲武土建機）に足かけ30年余りお世話になってます。矢作ダム関連、豊田市水道局、道路、治山ダムなどの仕事に従事してまいりました。どの分野においても後継者不足の対策とその教育の必要性に力を入れなければ産業は継承発達はないものと考えています。お陰様で、自治体こそ違え事業所経営者の深い理解を頂

き1期を務めさせて頂きました。私の短所はそういくつもありませんが、仕事に3つ重なりと疎かになります。忘れるということ。長所は、正直、嘘をつかない、在るがままを大切に相手の立場を大切にする事です。第3者の客観性により判断する。たまに氣遣いなく毒舌とも思える冗談を言ってしまう欠点もありますが、実は本音です。新議会では、秘書が居るわけでもありません。互いに協力し合い進むべきこの村の行く末の将来について案じまた最も良い方向を導き着実に歩むことのできるよう努めてまいりたいと考えています。

1期目を総括することなく2期目にはとても入ることはできません。そんな思いです。議員には引き継ぎがありません、ある意味孤独です。全国的な議員のなり手不足の中、真に村の将来を考えると深刻です。

気が付けば人口減少の問題、かつての宝の山は従事する人がいなくなり、その技さえも途絶えるところに来ているかもしれません。日頃の活動については「北風フォーラム」という私的議員活動情報新聞

を年1回少部数発行しています。

すでに、選挙公報やポスターに掲示したとおり、3つの政策を掲げました。

1、自治区再編23区を5区にしたい

2、地域課題に取り組む

3、「村民憲章」を作りわかりやすい村づくりの推進

この3つの政策を少し説明しますと、話し合いの場を作り、住民参加型の無理、無駄、ムラのない行政運営です、しかも情報公開をしつかり行つてわかりやすい村政運営の構築と日常化です。

皆様方がそれぞれ得意分野がありますように、そのあなたが主役、黙って終わつてしまふ何も話さなければ時間ばかりが過ぎていつてしまいきます。自分の村、自分の意思で生活しているのですからストレスを感じるようでは主権在民とは言えないと思います。話せばわかる、放せばわかる。あなた自身のイノベーションに期待します。常に議員とはどうあるべきか、自分の頭で模索し考え続けております。足を引っ張ったり、ねたんだり、その伸びる芽を摘んでしまつていませんか？行政任せでは、限界があります。

膝を交え、顔の見える、趣味や教養、匠、まだまだ学びたい、人の役に立ちたい、その皆様の欲求こそが令和時代にふさわしい村づくりと考えます。

村政と議会を身近なものと感じて頂けるよう開かれた議会を目指して私も頑張りたいと思います。是非とも皆様のご協力をお願い申し上げます私の思うところを述べさせて頂きました。

末筆ながら皆様方のご健康と末永いご多幸を祈念申し上げます私の挨拶とさせていただきます。

下井敦志



この度、無投票ではありませんが2期目、再任として村議会議員を務めさせて頂く事になりました。1期目は何かと勉強不足の面もあり村民の皆様にご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げ、寛容に見守っていただきましたこと

に感謝申し上げます。また、ご支援いただきました皆様には重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、私の村政に関わる姿勢は変わっておりません。専門とする教育、子育て分野はもとより、4年間の経験を生かして他の分野にも積極的に取り組んでまいります。4年前にも書かせていただきましたが、村民の皆さんはそれぞれの分野の専門家です。皆さんの専門的なご指導、ご意見を数多くいただき、村政に反映させていきたいと考えております。いつでも、どこでもご意見をお聞かせください。

平成27年より4年務めさせて頂き、教育分野を中心に、「入進学補助金制度」、保育所への「山はいく」導入、「義務教育学校検討」などの口火を切らせて頂きました。中でも義務教育学校は根羽の教育に革新的な変革をもたらす大きな改革です。6、3制の小中学校は9年制の1つの学校になります。これにより、よりきめ細やかな、より専門的な教育が可能になります。子供がいない村には活力が生まれません。油ののつた子育て世代がいない村に高齢者を支える体力は生まれません。高

齢者が豊かに文化的な生活を送るには支える世代の力が必要です。子育て世代が充実して働き、安心して暮らせる環境が必要です。そこに安心して子供を託せる教育が必要です。子供を育てることは村を育てることです。子供に将来があるのと同様、根羽村にも将来が待っているのです。

既存の企業に就職するだけでなく、この村で起業するたくましい人材を多く育て上げれば、村に雇用も生まれ多くの問題が解決に向かいます。他の地域にはない「根羽教育」を研究、実践していくことで、根羽の将来、未来を開拓してゆくのです。実際にUターン、Iターン者で起業される若い世代も出てきており、新しい風が吹きはじめたと感じられます。

村議会は8人で1つの組織です。それぞれ立場は対等ですが統率が取れないのは困ります。新議長を中心に議員お互いに律し合い切磋琢磨を怠らずに村政に向かう必要があります。それぞれの専門分野を深く研究し、「行動する議員」「働く議員」「働く議会」として村民の皆さんに認めていただけるように努力してまいります。

根羽の未来を担う子供たちは、明るく元気に育っております。お子さん、お孫さんが根羽には居なくとも村民皆で育てるつもりで、教育に関わっていただきたい、気軽に学校に足を運んで様子を見て頂きたいと思っております。

片桐清博



この度の村議会議員一般選挙において、地区をはじめ皆様方のご支援、ご支持を頂きましたが、2期目の当選をさせて頂きましたことを心より感謝申し上げます。

私も根羽村に戻り20年という月日がたち高齢化率が加速的に進む現実をみるなか、高齢者運転免許証返納問題など交通弱者増加に伴う移動手段の早期対応とシステム化、また安全、安心の観点から一人暮らしの高齢者は不安なく暮らしているのだろうかなど早

急に取り組まなければならぬと考えています。

また近隣市町村との連携による観光の見直しと参加、再建も自然豊かな根羽村にとっては重要な事と考え雇用と若者が帰り何か事業を始める糸口になればと考えますが、やはりインフラ整備が重要です。

飯田市を中心とした南信州広域連合はリニア中央新幹線と三遠南信道を軸にインフラ整備を進めておりますが根羽村も愛知県方面からの東西の流れを考えるなか153号線の整備と新伊勢神トンネルの早期完成を期待するところです。中京圏からの観光を含めた人の流れこそが根羽村にとって非常に重要な事と考えています。

2期目でございますが初心を忘れることなく根羽村の発展のため地区懇談会など多くの皆様方との対話を大切に、明るく透明で分かりやすく住み良い村づくりに取り組み、将来子供たちが戻りたいと思える根羽村を目指し皆様と共に頑張つてまいりますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

片 桐 康 孝



この度の根羽村議会議員一般選挙におきましては無投票ながらも皆様のご理解、ご支持を得て新人として初当選させて頂きました。私は36歳の時に家族を連れてUターンしてきて早25年経ちますが当時は農協給油所で委託店として地域でお世話になっておりましたのでご存じの方も多かったと思います。今では孫が小、中とお世話になつております。しかしながら児童数の激減はどんどん加速し村の人口も同様に激減する中、何か良い方法ないものかと考える日々でしたが短期特効薬がないのが現実です。時間はかかりますが中・長期にわたつてこの目の前の問題に村民皆で知恵を出し合う必要があります。(具体的な方法は選挙公報に載せてありますのでここでは省略させていただきます)

この生まれ育った村に少しでも恩返しができればと思いましたがにみなみ信州農協理事、農業委員、監査委員等を歴任してきましたがこれらの経験を少しでも議会で活かせるよう皆様のお力を借りながら良い村作りに取り組んでまいります。

今までは自分のため、家族のために生きてきましたが人生後半を過ぎて村のためになるなという気持ちで頑張ります。まだまだ力不足ですが皆さんの役に立てるよう頑張りますのでどうか宜しくお願いします。

石 原 理 好



この度の根羽村議会議員一般選挙におきまして、多くの皆様方からの温かいご支援をいただきましたこと心から感謝を申し上げます。

みなみ信州農協在籍中は村

民の皆様方に温かく見守られてまいりました。職員の移動で根羽村を10年ほど留守にしましたがその間みなみ信州農協本所、他の町村も担当し一杯の仕事ができた活動してまいりました、その多くの経験を基に活かしてまいりたいと思います。根羽村に返ります

と農業に関する事が多いため農業委員会長を務めさせていただきます。根羽村に返りますと農業に改定され3年が過ぎようとしている中で農地利用の最適化を目ざし、農地を守り担い手への農地利用集積、遊休農地の発生防止と解消、新規参入促進に努めてまいりました。昨年はトマトのハウス2棟建設され出荷が始まり新たな農業形態も見ることができ

ます。また、地域おこし協力隊の活かし方があります。他の町村では隊員数が5倍にも増加しているようです。根羽村も地域の人々がいきいきと暮らし地域の良さを通じて絶えず魅力的な地域であろうとすることが「選ばれる地域」になる道だと思えます。単に生活面での利便性が高いといったことなく課題は多く抱えているけれども地域住民も一緒に考え行動に移していくよう

な姿勢であり、地域おこし協力隊の受入れを強く望むことに取り組むことが急務であります。

また、農事組合法人ねばねも設立から9期目を迎え理事者の高齢化も進み作業能力も低下傾向であります。村内の農業は急峻で小規模農地が多く農地を維持するのが精一杯であり加えて鳥獣被害被害が多く対策が求められていると思います。法人も会員を増や少しでも遊休農地解消に努めてまいります。

31年間続いた平成が終わり新元号令和を迎えることになりました。政治に携わる事は初めてで全くの素人でございますが、村民の皆様方の意見をよく聞き村の発展につながるような村政に努めて参りたいと思いますので、一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。



石原明子



この度、「活かまい会」からの推薦と、多数の皆様からのご支援を頂き、女性議員として4期目の議会の場合へ足を踏み入れる事となりました石原明子です。選挙公報でも申し上げましたが、12年間守り続けて参りました女性議員の椅子・・・今回こそは若い世代へ引き継ぐべく「活かまい会」としも多数の方にお願ひ申し上げましたが、様々な事情の中お引き受け頂ける方は有りませんでした。男性議員ですらなり手不足の昨今、ましてや女性議員のなり手は更に厳しく、そのひとつの議席を守る為に高齢の身ではございますが、もう1期務めさせていたたく事となりました。



さて、「活かまい会」には8名の会員が居ります。それぞれが、村民の皆様の声に耳を傾け、その声を活かし、より良い村づくりの出来る様、尽力致します。人生100年時代に突入し、超高齢化社会に於ける女性の担う負担は更に重くなつて来ております。そんな中、少しでも安心安全な生活が出来る様、手となり足となるシステムの構築に取り組んで参りたいと思います。少子高齢化、人口減少問題は、決して見過ごす事の出来ない危機的な状況にまで追い込まれております。様々な手だてを模索する中、即効性の特効薬もなかなか見つからない中、村でも数々の支援策を講じて居りますが、更に充実したものとし、村民の皆様がこの村に暮らしたい、暮らして良かった・・・そう思つて頂ける様に「活かまい会」は努力したいと思つております。

どうぞ、今後とも引き続きの温かいご支援とご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

今回の統一選挙におきましては、村民の皆様に変化が世話になりまして無投票ではあったものの4期目の当選をさせて頂いたできました。

もとより、浅学ではございますが、議員生活3期12年と人生の69年余の経験、この先4年間に集約して邁進していく所存です。もちろん、村民の皆さんのご理解やご協力をいただき、改めて根羽村の発展に努めていく決意を固めた次第です。

行政では、第3期大久保村政が始まり、これからやらなくてはならない沢山の事業を抱えております。

原光史



第1に、30年先、50年先を見据えた計画をしていかなければならないと思います。

少子化に伴う学校改革問題、高齢化対策の一環にある「ねばねの里なごみ」の満床対策と高齢者の日常生活確保問題、基幹産業である森林活性化対策、今後、飛躍するであろう観光事業対策、遊休農地活用問題、地場産業振興発展における商工業対策、根羽ブランド品生産の継続事業対策、安心安全な生活を持続する為のライフラインの確保、通常災害や大規模災害への対策、153号線の根羽バイパス化、自然エネルギー活用、矢作川源流の特質性の利活用、列記すれば切りの無いほどの諸問題が山積しています。これらの項目を開關するための根羽村総合戦略計画に基づき1つ1つを丁寧に対応し、行政と議会がスムーズな運営を継続出来る様な環境作りをするのも大切な仕事だと思っております。

周辺行政の南信州広域連合、北設広域事務組合との連携は特に密な繋がりを作り、小さな自治体であっても不便さを感じない住みやすい根羽村にしていかなければなら

いとは改めて感じている所でございます。

人口減少化は根羽村だけでなく全国の自治体の九割以上が抱えている問題です。村民が少なくなっていく中でも「今、住んでいる人々が如何に住みやすく安心して暮らすを営む事ができるか」を行政と議会が一本の矢になり、この責務を果たさなければならぬと考えています。

行政と議会は車のタイヤと言われております。丸いタイヤも片一方が三角ではスムーズに目的地には着くことができません。村民の皆さんがこの人々を議会に選んで良かったと思われような議会議員を目指して邁進していく所存であります。

議会
だより

第二回

臨時議会(初議会)を開催

統一地方選挙後の初議会となる第二回臨時議会が五月八日に開催されました。内容は、次のとおりです。

選挙

議長選挙

臨時議長（石原明子議員）による指名推薦により西尾竹司議員が議長に当選しました。

副議長選挙

西尾議長による指名推薦により坂巻秀高議員が副議長に当選しました。

南信州広域連合議会選挙

西尾議長が指名され、南信州広域連合議員に当選しました。

北設広域事務組合議会議員選挙

西尾議長が指名され、北設広域事務組合議会議員に当選しました。

条例

根羽村税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

国の法律等の改正に伴い条例の改正が行われました。

人事

◆根羽村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について
国民健康保険税の引き上げによる改正が行われました。

◆監査委員の選任に付き同意を求めること
新たに中野、片桐義夫さんが学識経験者として選任されました。村議会の改選に伴い、石原明子議員が監査委員に選任されました。



片桐義夫さん

その他

◆消防委員会委員の推薦
議長より片桐康孝議員・石原理好議員・下井敦志議員の三名が推薦され承認されました。

議席の指定

◆常任委員会及び議会運営委員会委員の選任
表のとおり決定しました。

議 会 構 成

議 長	西 尾 竹 司	副議長	坂 巻 秀 高
総 務 委 員 会	◎ 下井 敦志 4番 石原 明子 7番	○ 片桐 康孝 2番 西尾 竹司 1番	
経 済 委 員 会	◎ 片桐 清博 5番 原 光史 6番	○ 石原 理好 3番 坂巻 秀高 8番	
議 会 運 営 委 員 会	◎ 坂巻 秀高 片桐 清博	○ 下井 敦志 西尾 竹司	

◎ 委員長 ○副委員長 数字は議席番号

統一地方選挙の結果

長野県議会議員
一般選挙結果

4月7日に執行されました、長野県議会議員一般選挙の投票率は78・81%でした。
なお、投票結果は次のとおりです。

県議会議員一般選挙の結果				
	当日の有権者	期日前投票者	不在者投票者	投票所投票者
男	398	170	0	151
女	409	194	2	119
計	807	364	2	270
	投票者計	棄権者	投票率	
男	321	77	80.65	
女	315	94	77.02	
計	636	171	78.81	

候補者名	党派	得票数
古田 英士	自由民主党	60
水野 力夫	日本共産党	20
熊谷 元尋	無所属	75
吉川 彰一	無所属	21
小池 清	自由民主党	23
川上 信彦	公明党	391
小島 康晴	無所属	12
早川 大地	無所属	26
無 効		8
計		636

根羽村長選挙結果

4月21日に執行されました、根羽村長選挙の投票率は83・33%でした。

なお、投票結果は次のとおりです。また、根羽村議会議員一般選挙については、定数8名に対し、8名の立候補であったため、無投票で当選が決定しました。

県議会議員一般選挙の結果				
	当日の有権者	期日前投票者	不在者投票者	投票所投票者
男	395	176	0	162
女	409	192	3	137
計	804	368	3	299
	投票者計	棄権者	投票率	
男	338	57	85.57	
女	332	77	81.17	
計	670	134	83.33	

候補者名	得票数
大久保憲一	512
党派	
無所属	141
候補者名	
南木 一美	
党派	17
無 効	
計	670

根羽村福祉医療費給付事業について

令和元年 5 月 1 日現在

村では、子育て支援や福祉増進を目的に、高等学校卒業までの子どもと、一定以上の障がい者の方、母子等及び父子家庭の方を対象として、医療費の負担を軽減するために福祉医療費給付事業を行っています。

支給対象者

根羽村に住所があり次の表のいずれかに該当する方です。(住所が村外であっても高校生等で扶養の事実があれば対象。)

●現物給付対象者●

乳幼児・生徒等	・ 出生から18歳のうち扶養されている方(18歳誕生日後3/31まで) ・ 所得制限なし
---------	--

※ 5月診療分から窓口負担0円となりました。

※ 柔整は、福祉医療費の給付対象ですが、現物給付の対象ではありません。受給者証の提示は忘れずおこなってください。

●自動給付対象者●

障がい者	次のいずれかに該当する方 ・ 身体障害者手帳 3 級以上の方 ・ 療育手帳の障害の程度が B 1 以上に該当する方 ・ 障害者年金をもらっている方 ・ 精神障害者保健福祉手帳 1 級・2 級の方 (精神の方は 1 級・2 級ともそれぞれ給付制限があります) ※ それぞれ個々の所得制限等があります。ただし、18歳未満の障害者は所得制限なし
母子家庭の母等	・ 一定の要件を満たす方
父子家庭の父	・ 一定の要件を満たす方

※ 窓口で自己負担分を支払っていただきます。その後300円、高額療養費等を控除してご指定口座に支給されます。

給付方法等について

(1)受診の際、保険証と一緒に、医療機関及び薬局へ受給者証を提示して下さい。

長野県内及び上矢作病院でかかった医療費は自動的に村へ書類がきますので、申請時のご指定口座へお振り込みいたします。 ※受給者証を提示しないと支給されませんので忘れないようにしましょう。

(注) 学校での怪我については、窓口で1,500円以上(数日通えば全ての合計金額)の支払いがあると災害給付金の対応になります。その場合は、窓口で福祉医療受給者証は提示しないでください。災害給付金の申請は、学校養護教諭まで申し出てください。

(2)県外でかかった医療費は、受け取った領収書を役場住民課へ提出して下さい。(レシートは無効です。)

※請求期限は1年以内

通常の支払処理は2ヶ月遅れとなります。

(診療月の翌々月に県内及び県外の領収書(提出のあった)により申請時のご指定口座に振込む予定)

※福祉医療で給付された医療費は他の控除対象費にはなりません。(例えば、確定申告での医療費控除には使えません。)

給付対象医療費から除かれる項目

1. 医療保険各法の規定による、付加給付金
2. 国又は地方公共団体の負担において、医療に関する給付を受けることができるときはその額(高額療養費など)
3. 入院時の食事療養費及び生活療養費にかかる標準負担額等
4. 医療機関等の自動給付方式事務にかかる事務処理額として300円。(当村では1レセプト300円。長野県の規定では通常500円のため、差額の200円は当村が負担。ただし、現物給付対象者を除く。)

福祉医療資金貸付制度について

1. 根羽村福祉医療給付金支給条例による給付金受給者
 2. 世帯及び生計を一にする者のいずれも当該年度分の村民税が非課税である者
- 以上の要件を満たす者のうち、村長が医療費の支払いが困難と認めた者

喪失について

- (1)支給対象者の要件に該当しなくなったとき(当該要件に該当しなくなった日の属する月の翌月の初日)。
- (2)死亡又は転出したとき(当該事実の発生した日の翌日)。
- (3)他法等で療養の給付等を受けるとき(当該事実の発生した日)。

※なお、資格喪失した場合は、受給者証を役場へ返還して下さい。

長野県ヘルプマークについてお知らせします

長野県では、平成30年7月から、義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見からは分からない方が援助を得やすくなるよう、ヘルプマークを配付しています。

ヘルプマークが広く県民に浸透し、日常生活で援助や配慮を得やすい社会となるよう、周囲の方にもヘルプマークのことをお知らせください。

目的 義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるように東京都が作成したマークです。

ヘルプマークを持つことで「援助や配慮を必要としていることを知らせる効果」があります。



対象者 義足や人工関節を使用している方、身体障がい、精神障がい、知的障がい、発達障がい、内部障がいのある方、難病の方、妊娠初期の方などであって外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている長野県内に住まいの方

使用方法 ストラップを利用して、鞆等に付けて使用します。常時着用する、必要な時に着用する等、用途に応じて使用してください。

※ストラップがドアに挟まれないように注意すること ※紛失に注意すること

附属のシールは、必要に応じてマークの片面に貼ることができます。シールには、ヘルプマークの利用者が、周囲に伝えたい情報や必要とする支援内容を記入することができます。

(例) 利用者の名前と電話番号、血液型、薬について、緊急連絡先の名前と電話番号、かかりつけ医、〇〇してください、〇〇が苦手です 等

私は皆さんの支援が必要です。

下記に連絡して下さい。

私の名前

連絡先の電話 1

呼んで欲しい人の名前

連絡先の電話 2

呼んで欲しい人の名前

その他に「ヘルプカード」というカードもありますので、必要な方は役場へご相談ください。

国民年金のお知らせ

平成31年4月から国民年金保険料の産前産後期間の免除制度が始まりました。

■免除される期間

出産予定日または出産日が属する月の前月から4ヶ月間の保険料が免除されます。なお、多胎妊娠の場合は、出産予定日または出産日が属する月の3ヶ月前から6ヶ月間の保険料が免除されます。産前産後免除期間として認められた期間は、保険料を納付したものととして老齢基礎年金の受給額に反映されます。

※出産とは、妊娠85日（4ヶ月）以上の出産をいいます。（死産、流産、早産を含みます。）

■対象者

産前産後免除期間に国民年金第1号被保険者期間を有する者

※ただし、出産日が、平成31年2月1日以降の方が対象

■届出時期

出産予定日の6ヶ月前から届出可能です。根羽村役場住民課で受け付けます。

■届出様式は年金事務所、根羽村役場に備え付けてあります。
日本年金機構ホームページからダウンロードすることもできます。

■添付書類

出産前に届出をする場合
：母子手帳など
：産後に届出をする場合
：根羽村で出産日等が確認できる場合は添付書類不要。ただし、被保険者の子が別世帯の場合は、出生証明書など、出産日及び親子関係を明らかにする書類

年金相談・お手続きの際は、ぜひご予約を！

(0570-05-4890

又は 0265-22-3641)

日本年金機構職員等を装った不審電話にご注意ください！



日本年金機構ホームページ

<https://www.nenkin.go.jp/>

トライアルハウスが完成しました

少子高齢化が進む中、地域産業の振興と担い手確保、移住者増加を目指すため、赤坂地区に「地域産業再生拠点施設（トライアルハウス）」が建設されました。



この施設は、村外から根羽村への移住・就業を検討する方や、村の産業振興に協力していただく方が一定期間、村内に滞在するための施設です。

建物は根羽スギ、根羽ヒノキをふんだんに使用した木造一部2階建てで、単身者用の居室6部屋と共同で使用するリビング、ダイニングキッチンが整備されています。

今後、指定管理者制度による管理者を募集し、施設の維持管理と施設利用者の募集等を行い、村の活性化につなげていきます。



片桐昭子さん

関東管区行政評価局長表彰受賞

長年にわたり行政相談員として国民行政に対する苦情の解決に尽力されたとして、このほど平成31年度の関東管区行政評価局長表彰を受賞されました。

片桐さんは平成21年から行政相談員として活躍されています。



根羽保育所・小学校・中学校入学式

根羽村保育所入園式

4月2日（火）、根羽村立根羽村保育所で入園式が行われ、新入園児四人を迎え、全児童14名で元気いっぱいの新年度がスタートしました。

今年から、根羽村の豊かな自然環境を活用した信州型やまほいくの取組が始まります。村民の皆様にはお世話になりますが、よろしくお願いします。



根羽小・中学校入学式

4月3日（水）、根羽村立根羽小・中学校で入学式が行われ、不安と希望を胸に小学校3人、中学校5人が新たな一步を踏み出しました。

最初に行われた中学校の入学式では、中原校長から「ぜひ中学校のうちにやさしさ、思いやり、いたわりをさらに身につけ、多様な人、国、考え方を受け入れられる人になってほしい。」とあたたかい激励の言葉を受け、気を引き締めた表情を見せていました。また、今年度から始まった親子留学で、安城市の生徒2名を迎え入れて新年度がスタートしました。

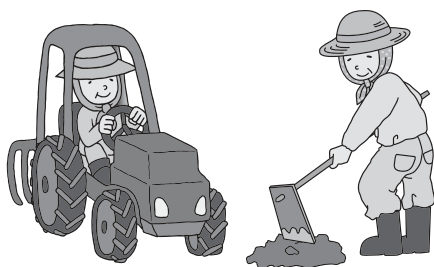
次に行われた小学校の入学式では、新1年生が先生に引き連れられて入場し、一人ひとりが順番に名前を呼び上げられると、「ハイ！」と元気に答えてました。



農作業安全運動 月間のお知らせ

長野県では、農作業安全に対する意識の向上と事故防止を目的として5月1日から5月31日を『春の農作業安全運動月間』としています。県内では昨年農作業中の死亡事故が15件と全国的にも多発しています。トラクターや耕うん機などの転倒のよるものも多く、高齢者や不慣れな方による事故の割合が非常に高くなっています。

家族や仲間同士で互いに声を掛け合い、始業点検や周囲の安全確認をして、安全に取り組みましょう。
万が一に備え、「労災保険」に加入しましょう。



第67回結婚記念植樹祭・ 令和元年度根羽村植樹祭開催



第67回結婚記念植樹祭・令和元年度根羽村植樹祭が5月18日にネバーランド周辺で盛大に開催されました。

新婚者は2組、銀婚者3組、金婚者3組の方々をはじめ、村外からも長野県、川上村、愛知県安城市、明治用水土地改良区の皆さんをはじめ多くの方に参加いただき、村内参加者と併せて約150名で安城市から贈呈していただいた苗木を含む400本のミツバツツジ・ヤマツツジを植樹しました。



午後からは、安城市からの参加者を中心に、木工ペンダント作りや木はがき制作を行い、木工体験を通して、根羽すぎに実際に触れ、木の温もりを感じてもらうことができました。今年も晴天に見舞われ、たくさんの方が参加され、環境保全の大切さや森林づくりへの想いを新たに、植樹祭を楽しみました。



根羽村駐在所警察官

玉置 和成^{かずなり}

飯田市出身、1985年生まれ、34歳、飯田警察署根羽村駐在所主任。

前任地は上田警察署で刑事課勤務。駐在所勤務は根羽村駐在所が初めての経験。趣味は釣り。家族は妻と子供2人。



新規職員の紹介 よろしく お願いします

お願いします

高校卒業後2年間松本市の専門学校に通っていました。早く仕事に慣れて、村民の方々の役に立てるように頑張りたいです！

※（ ）は出身地

総務課配属

宮島 眞洋^{まひろ}（飯田市）



社会に出たばかりですが、わからないことばかりですが、新社会人らしく一生懸命がんばっていきたいと思います！よろしくお願いします!!

総務課配属

浅井 呂空^{ろく}（豊田市）



これまで長野県内、大阪府内の公立小中学校で教職員をしていました。

昨年は飯田市内の児童センターで勤務し、今年度から根羽村にお世話になります。どうぞよろしくお願いします。

住民課配属

久保田 洋平^{ようへい}（飯田市）

